【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公開番号】特開2006-92843(P2006-92843A)
【公開日】平成18年4月6日(2006.4.6)
【年通号数】公開・登録公報2006-014
【出願番号】特願2004-275169(P2004-275169)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　8/24　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　8/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　8/24　Ｒ
Ｈ０１Ｍ　8/10

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月12日(2007.7.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電解質の両側に一対の電極を設けた電解質・電極構造体を、横長の長方形セパレータにより挟持する単位セルを設け、複数の前記単位セルが水平方向に積層されるとともに、各単位セルの対向する長辺には、積層方向に貫通してそれぞれ冷却媒体入口連通孔及び冷却媒体出口連通孔が形成される燃料電池スタックであって、
前記冷却媒体入口連通孔及び前記冷却媒体出口連通孔は、それぞれリブ部により長辺方向に分割されるとともに、
前記リブ部は、前記単位セルの外方側の端部が前記単位セルの内方側の端部よりも幅広に構成されることを特徴とする燃料電池スタック。
【請求項２】
請求項１記載の燃料電池スタックにおいて、前記冷却媒体入口連通孔及び前記冷却媒体出口連通孔は、それぞれ長辺方向に複数個ずつ設けられるとともに、
各冷却媒体入口連通孔間及び各冷却媒体出口連通孔間に前記リブ部が設けられることを特徴とする燃料電池スタック。
【請求項３】
請求項１又は２記載の燃料電池スタックにおいて、前記セパレータは、金属セパレータで構成されるとともに、
前記金属セパレータに成形されるシール部材の成形用ゲートが、前記リブ部に対応して設けられることを特徴とする燃料電池スタック。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか１項に記載の燃料電池スタックにおいて、前記冷却媒体入口連通孔及び前記冷却媒体出口連通孔の前記リブ部を挟んだ長手方向の寸法は、前記単位セルの内方側の端部間の開口寸法が、前記単位セルの外方側の端部間の開口寸法よりも大きく設定されることを特徴とする燃料電池スタック。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明は、電解質の両側に一対の電極を設けた電解質・電極構造体を、横長の長方形セパレータにより挟持する単位セルを設け、複数の前記単位セルが水平方向に積層されるとともに、各単位セルの対向する長辺には、積層方向に貫通してそれぞれ冷却媒体入口連通孔及び冷却媒体出口連通孔が形成される燃料電池スタックである。